

# PRODIA ホームシアター

このたびは、PRODIAホームシアター「PRD-FT90B」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

型番：PRD-FT90B

## 安全上のご注意 2

## ご使用前に

付属品の確認	4
お手入れの方法	4
使用前の準備	5

## 各部のなまえとはたらき

本体前面	6
本体背面	8
リモコン	9

## テレビの設置

設置について	10
転倒防止処置	11

## 機器の接続

テレビの接続	12
DVD プレーヤーなどの外部機器の接続	14
ポータブルオーディオプレーヤーなどの接続	16
マイクの接続	16

## 基本操作

電源の入／切	17
音声の切換	17
音量の調節	18
低音の調節	18
サラウンド音声	18
インジケーターの明るさ調節	19

## カラオケとして使う 20

## 困ったときは 21

## 定格 22

# 安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、以下の事項を守って正しく使用してください。

 **警告** 火災や感電などにより、死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

---

 以下のような場所には置かない。

- 水がかかったり、湿気の多い場所。
  - 雨水が降りこむような場所。
  - 暖房器具や熱源の近くなど、高温になる場所。
  - 直射日光の当たる場所。
  - ほこり、油気の多い場所。
  - 振動や衝撃がある場所。
  - 傾斜しているなどして、不安定な場所。
  - 極端な高温、低温、温度差が発生する場所。
- ➡火災、感電、故障の原因になります。

 本製品の分解や改造、修理などは絶対にしない。

- ➡火災や感電、故障の原因になります。修理は弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。

 以下の場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜く。

- 故障している。
  - 異音、異臭、煙が出ている。
  - 破損、変形している。
  - 異常に熱くなっている。
- ➡火災、感電、故障の原因になります。何か異常が起こったときに、すぐに電源プラグを抜けるように設置してください。修理・点検はお買い求めいただいた販売店、または弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。

 AC アダプター、電源ケーブルおよびプラグは正しく取り扱う。

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない。
  - かならず本製品に付属の AC アダプターと電源ケーブルを使用する。
  - 電源プラグのほこりなどは、コンセントから抜いて乾いた布で定期的に掃除する。
  - 電源プラグは根元まで確実にさし込む。
  - 電源ケーブルおよびプラグが傷んでいる場合は使用しない。
  - コンセントへのさし込みがゆるい場合は使用しない。
  - 電源プラグの抜きさしを濡れた手で行わない。
  - 電源ケーブルを傷つける、引っ張る、無理に曲げる、ねじる、束ねる、重い物をのせる、挟み込む、加熱するなどの行為をしない。
- ➡火災、感電、故障の原因になります。



行為を禁止する記号です。このマークの付いている事項はしてはいけません。



行為を指示する記号です。このマークの付いている事項はかならずしてください。



## 注意

感電・その他事故などにより、けがをしたり周辺の物品に損害を与える可能性がある内容です。



オーディオユニットの内部に金属や液体などの異物を入れない。

➡ 液体や金属類が内部に入ると、火災・感電・故障の原因になります。



天板の上に乗ったり、耐荷重より重い物をのせない。

➡ 破損やけがの原因になります。とくにお子様が乗らないように注意してください。



本製品に割れやゆがみなど、破損・変形があるときは使用しない。

➡ そのまま使用すると、テレビが倒れて壊れたり、けがの原因になります。



設置する場所の周囲をあける。

- ・オーディオユニットの通風孔に10cm以上の隙間ができるように設置する。
- ・風通しのよい場所に設置し、テーブルクロスやカーテンを掛けたりしない。

➡ オーディオユニットの通風孔がふさがれると、内部温度が上昇して火災や故障の原因になります。



設置するテレビは天板の中央に置き、転倒防止の処置を行う。

➡ 地震や振動などでテレビが転倒し、けがの原因になります。



本製品を運ぶときは、以下のことを守る。

- ・接続されているケーブル類をすべてはずし、載せている機器を本製品から降ろす。
- ・2人以上で運ぶ。
- ・衝撃を与えないように運ぶ。

➡ 転倒または落下し、故障やけがの原因になります。



リモコンの電池は正しく取り扱う。

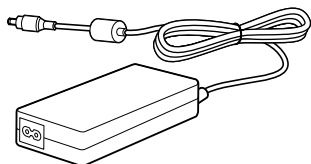
- ・使い切ったときや、長期間使わないときは、電池を取り出す。
- ・正しい極性(+/-)でセットする。
- ・使用推奨期限が過ぎた電池や、使い切った電池は使用しない。
- ・種類の違う電池、新しい電池と使用した電池を併用しない。
- ・充電、加熱、分解しない。
- ・ショートさせたり、火の中に投入しない。
- ・水に濡らしたり、濡れた手で触らない。

➡ 発熱、液もれ、破裂などにより、故障・けがや周囲を汚損する原因になります。電池からもれている液は、皮膚の炎症や失明の原因になるおそれがあるため、素手では触らないでください。また、液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

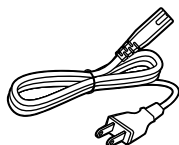
# ご使用の前に

## 付属品の確認

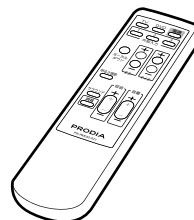
本製品には以下の付属品が含まれています。  
そろっていない場合は、お買い上げ後、2週間以内に弊社ユーザーサポートセンター（P.21）までお問い合わせください。



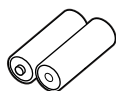
ACアダプター



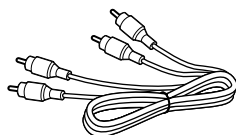
電源ケーブル



リモコン



単3形乾電池（2本）



ステレオピンケーブル



取扱説明書 兼保証書（本書）

**ご注意** 取扱説明書（本書）の裏表紙が保証書になっています。保証を受けるときに必要なりますので大切に保管してください。

## お手入れの方法

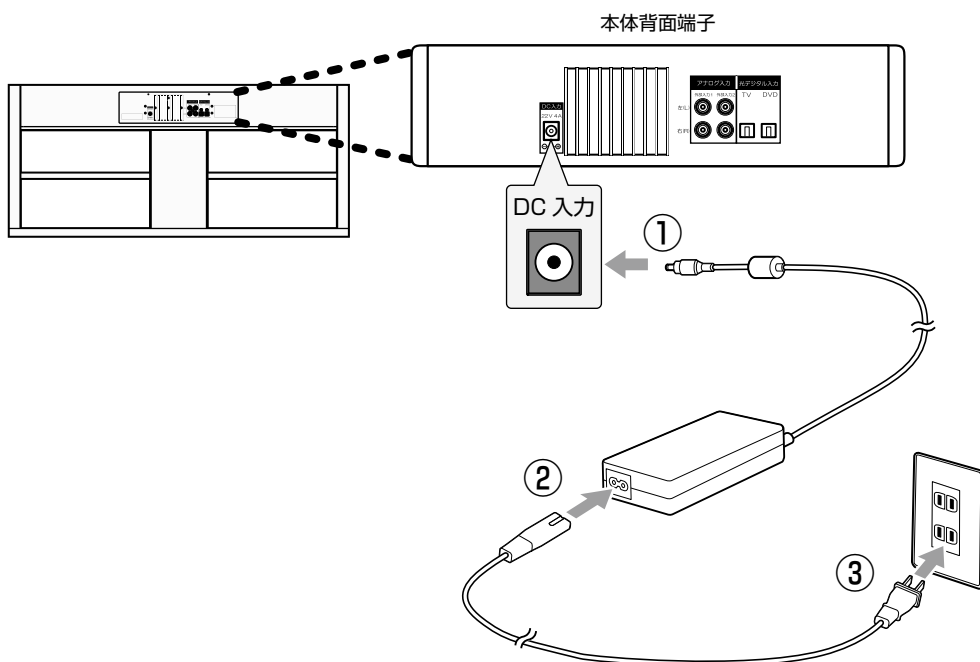
- 汚れやほこりをふき取るときは、空ぶきか、十分に絞った柔らかい布でやさしくふいてください。水ぶきしたり、表面を擦るようにふくと、表面に細かい傷が入ったり、塗装が剥げる場合がありますので注意してください。
- 化学ぞうきんを使用する場合は、長時間接触させたまにしないでください。変色や変形のおそれがあります。
- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品や、研磨剤などでのお手入れはしないでください。変色や変形のおそれがあります。
- ネジのゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんでいるときはしっかりと締めなおしてください。
- 本製品を廃棄するときは、お住まいの地方自治体の条例または規則に従ってください。
- その他、お手入れなどについてのご相談は、販売店または弊社ユーザーサポートセンター（P.21）にお問い合わせください。

## 使用前の準備

本製品をお使いになる前に、以下の準備を完了してください。

### AC アダプター・電源ケーブルの接続

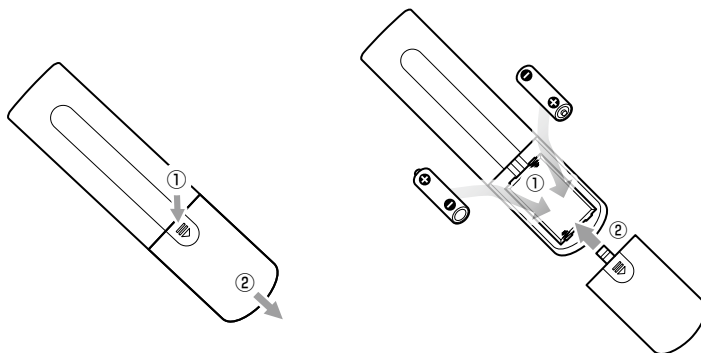
本体側から接続して、最後にコンセントに電源プラグをさし込みます。



### リモコン電池のセット

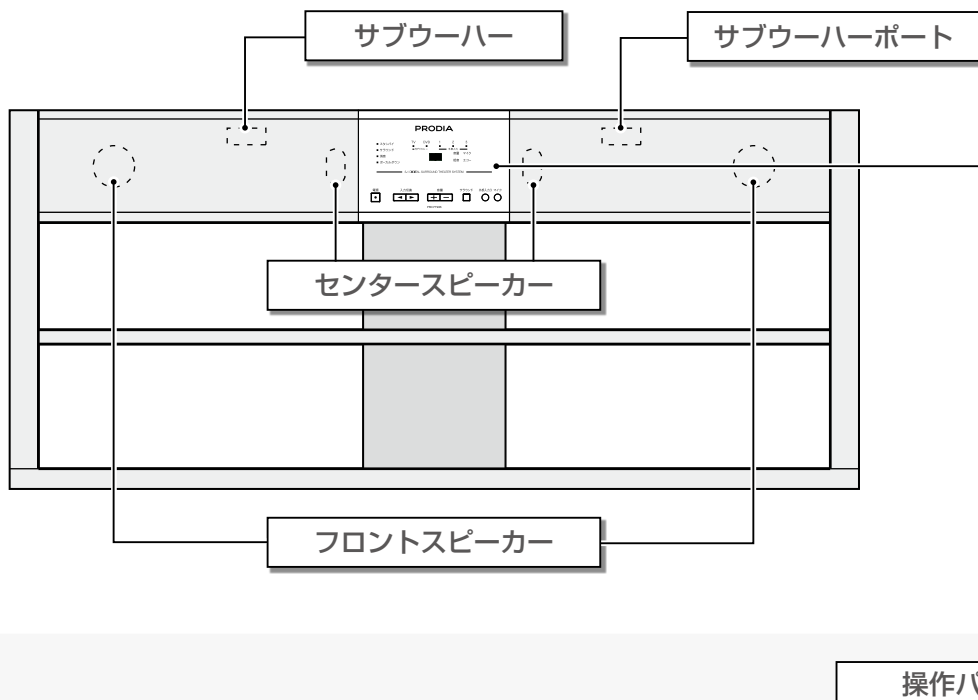
正しい極性でセットしてください。

開け閉めするときは、電池蓋を破損しないように注意してください。



# 各部のなまえとはたらき

## 本体前面



### 表示ランプ

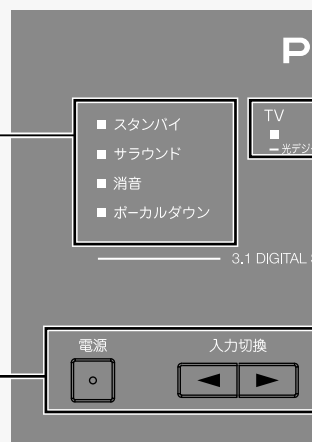
音声出力の状態を示します。

スタンバイ	本体が通電していて、待機状態のときに点灯します。
サラウンド	サラウンド機能を使用しているときに点灯します。
消音	消音にしているときに点灯します。
ボーカルダウン	ボーカル音声を小さくしているときに点灯します。

### 操作ボタン

電源の入/切、音源の選択、音声の調節などを行います。

電源	本体の電源を入/切します。
入力切換	出力する音源を切り換えます。
音量調節	音量を調節します。
サラウンド	音声をサラウンドにします。 解除するときはもう一度押します。



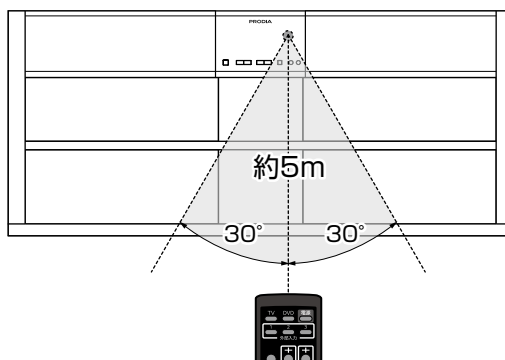
## ソースランプ

選択中の音源が点灯します。入力切替ボタンで出力する音声を切り換えます。

光デジタル	TV	本体背面の「TV」端子に接続されている機器の音声です。
	DVD	本体背面の「DVD」端子に接続されている機器の音声です。
外部入力	1	本体背面の「外部入力 1」端子に接続されている機器の音声です。
	2	本体背面の「外部入力 2」端子に接続されている機器の音声です。
	3	本体前面の「外部入力 3」端子に接続されている機器の音声です。

## リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンは下図の範囲内で使用してください。



## インジケータ

音量や効果の大きさを表示します。「音量」「低音」「マイク」「エコー」の文字が、それぞれの調整をしているときに点灯します。

## マイク端子

φ 3.5 ステレオミニジャック端子対応のマイクを接続します。

## 外部入力 3 端子

φ 3.5 ステレオミニジャック端子で音声を出力できる機器を接続します。

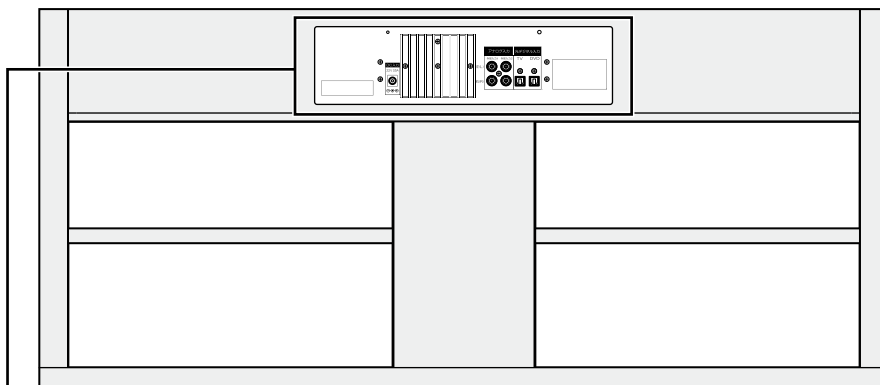
RODIA



SURROUND THEATER SYSTEM



## 本体背面



### 背面端子部

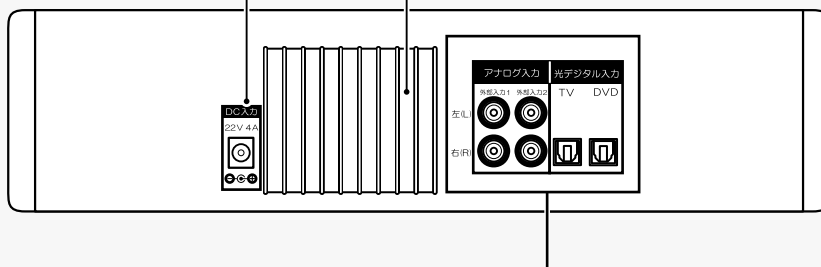
#### DC 入力

付属の AC アダプターを接続します。

#### ヒートシンク

オーディオユニット内部の熱を逃がすための放熱板です。高温になる場合がありますので、使用中は触れないようにしてください。

※ほこりなどが付着すると放熱効果が下がるため、定期的に掃除してください。



### 入力端子

外部機器から音声を入力します。

接続する機器が、使用する端子での音声出力に対応している必要があります。

アナログ入力	外部入力 1	ステレオピンケーブルで外部機器と接続します。
	外部入力 2	
光デジタル入力	TV	光デジタル音声ケーブルでテレビと接続します。
	DVD	光デジタル音声ケーブルで DVD プレーヤーなどの外部機器と接続します。



# リモコン

## 電源

本体の電源を入/切します。

## 明るさ調節

インジケータの表示が暗くなります。もう一度押すと、元の明るさに戻ります。

## サラウンド

音声の出力方法を変更することで臨場感のある音声を楽しめます。解除するときはもう一度押します。

## 消音

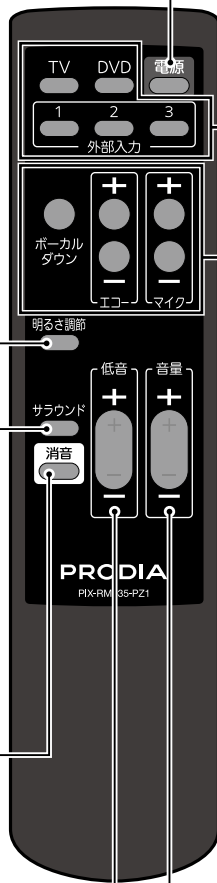
音声の出力を停止します。解除するときはもう一度押します。

## 低音

低音（サブウーハー）音量を調節します。  
-5 ～ 5の間で調節できます。

## 音量

音量を調節します。  
00 ～ 63の間で調節できます。



## 入力切替

音源を選択します。

TV	本体背面の「TV」端子に接続されている機器の音声を出力します。
DVD	本体背面の「DVD」端子に接続されている機器の音声を出力します。
外部入力 1	本体背面の「外部入力 1」端子に接続されている機器の音声を出力します。
外部入力 2	本体背面の「外部入力 2」端子に接続されている機器の音声を出力します。
外部入力 3	本体前面の「外部入力 3」端子に接続されている機器の音声を出力します。

## カラオケ操作

マイク音量の調節や効果を適用します。

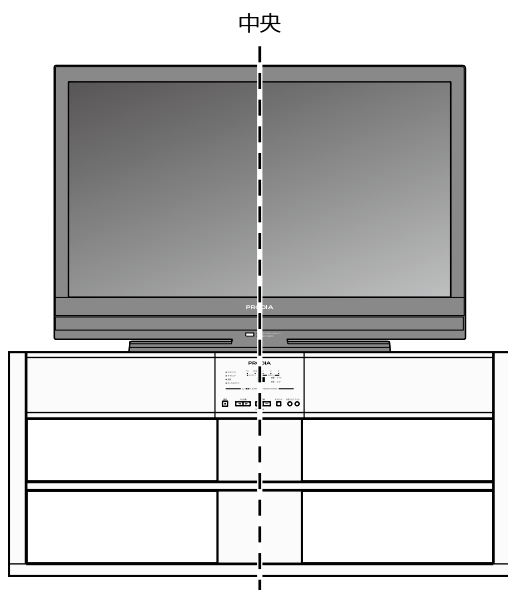
ボーカル ダウン	楽曲のボーカル音声だけを小さくします。解除するときは、もう一度押します。
エコー	マイク音声のエコーの強さを調節します。 00 ～ 40の間で調節できます。
マイク	操作パネルのマイク端子に接続したマイクの音量を調節します。 00 ～ 40の間で調節できます。

# テレビの設置

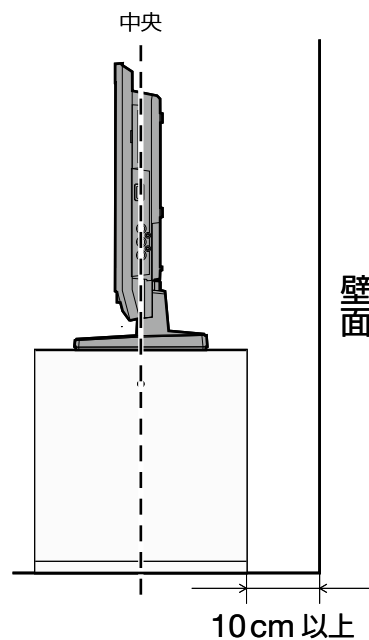
## 設置について

本製品に設置するテレビの大きさは 32V ~ 37V 型のテレビを推奨します。  
テレビが天板の中央にくるように設置してください。

正面



側面



**ご注意** 本製品およびテレビや外部機器の設置については、以下の点を守ってください。

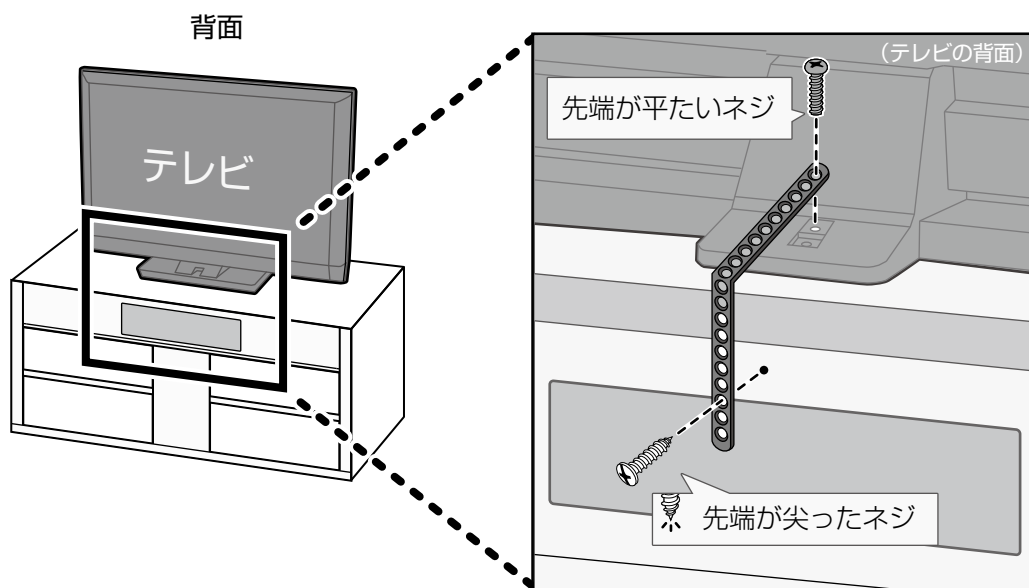
- 本体と壁面との間に 10cm 以上の隙間をあげる。
- テレビや外部機器は天板や棚の中央に設置する。
- 設置する機器の取扱説明書にしたがい、放熱のための隙間を確保する。
- テレビに転倒防止処置を施す。
- テレビや外部機器のケーブル類の接続は設置後に行う。

## 転倒防止処置

地震や振動などでテレビが転倒して破損したり、けがをしたりするのを防ぐために、テレビを天板に固定してください。

**ポイント** テレビに付属の転倒防止バンドと固定ネジを使用してください。取り付けにはドライバーを使用します。くわしい取り付け方法はテレビの取扱説明書等を確認してください。

**ご注意** 下図は弊社製品 PRD-LH132B の取り付け例です。テレビによっては図のような取り付け穴がない場合があります。



# 機器の接続

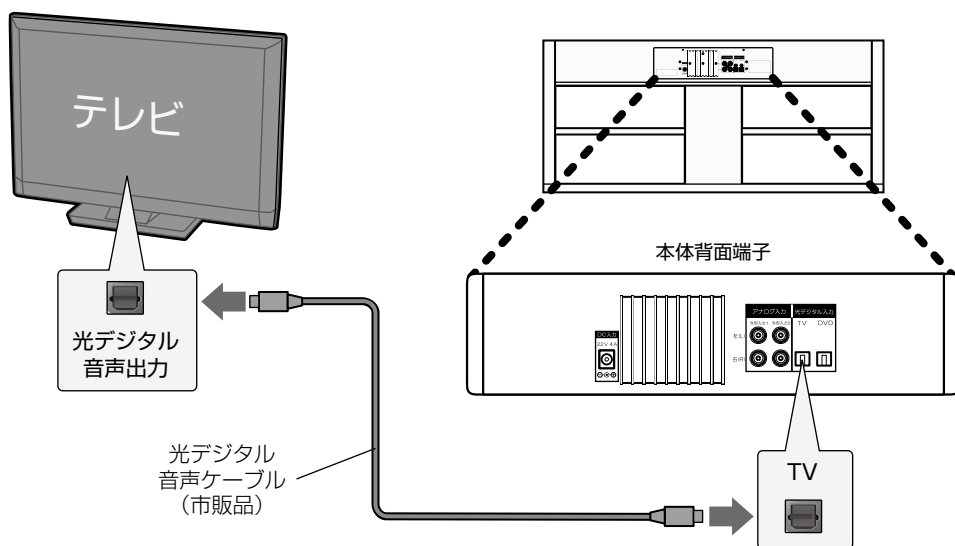
## テレビの接続

弊社製品 PRD-LH132B を接続する場合は、光デジタル音声ケーブルを使用してください。

※ ステレオピンケーブルでの音声出力には対応していません。

### 光デジタル音声ケーブルでの接続

光デジタル音声出力に対応したテレビを接続します。

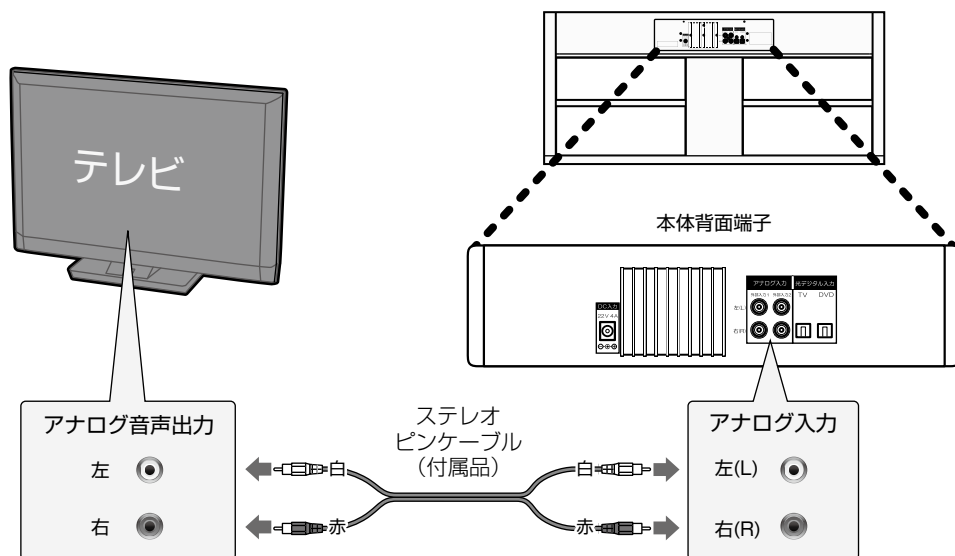


### ご注意

- 光デジタル音声ケーブルは別途用意してください。
- 光デジタル音声ケーブルを折り曲げたり、急な角度で曲げたりするとノイズが発生する場合があります。
- 音声が出力されなかったり、チャンネル切換時にノイズが聞こえる場合は、接続機器の音声出力設定を PCM にしてください。

## ステレオピンケーブルでの接続

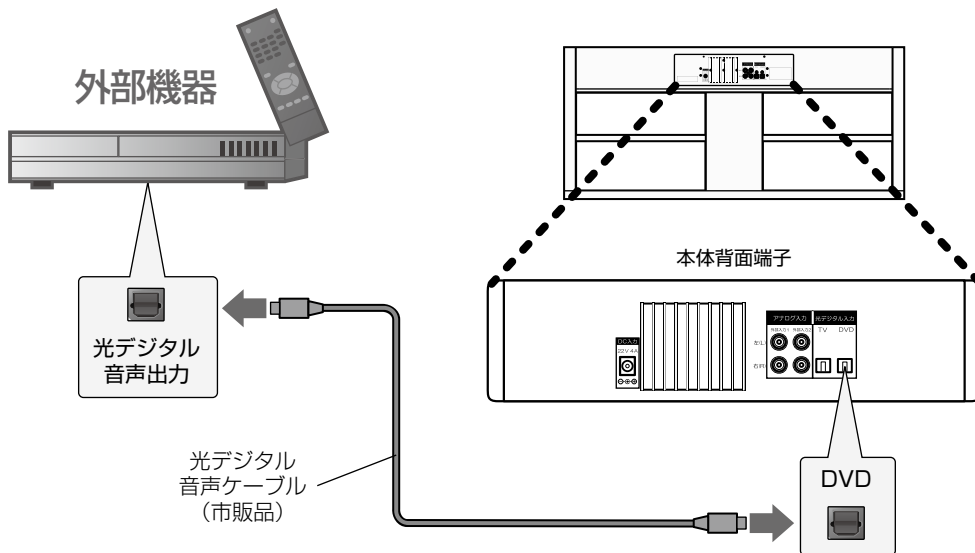
アナログ音声出力に対応したテレビを接続します。  
「外部入力1」「外部入力2」のどちらの端子でも使用できます。



## DVD プレーヤーなどの外部機器の接続

### 光デジタル音声ケーブルでの接続

光デジタル音声出力に対応した機器を接続します。

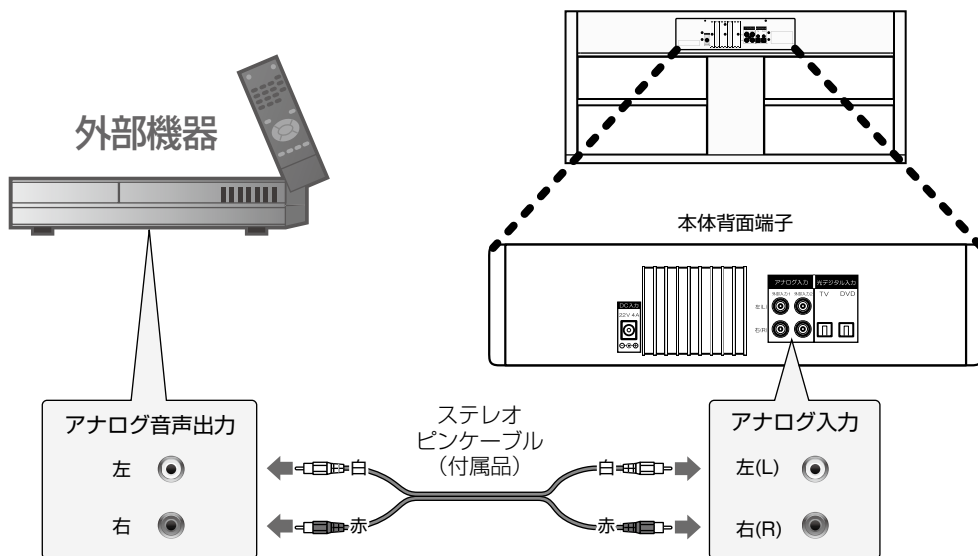


### ご注意

- 光デジタル音声ケーブルは別途用意してください。
- 光デジタル音声ケーブルを折り曲げたり、急な角度で曲げたりするとノイズが発生する場合があります。
- 音声が出られなかったり、チャンネル切換時にノイズが聞こえる場合は、接続機器の音声出力設定を PCM にしてください。

## ステレオピンケーブルでの接続

アナログ音声出力に対応した機器を接続します。  
「外部入力1」「外部入力2」のどちらの端子でも使用できます。

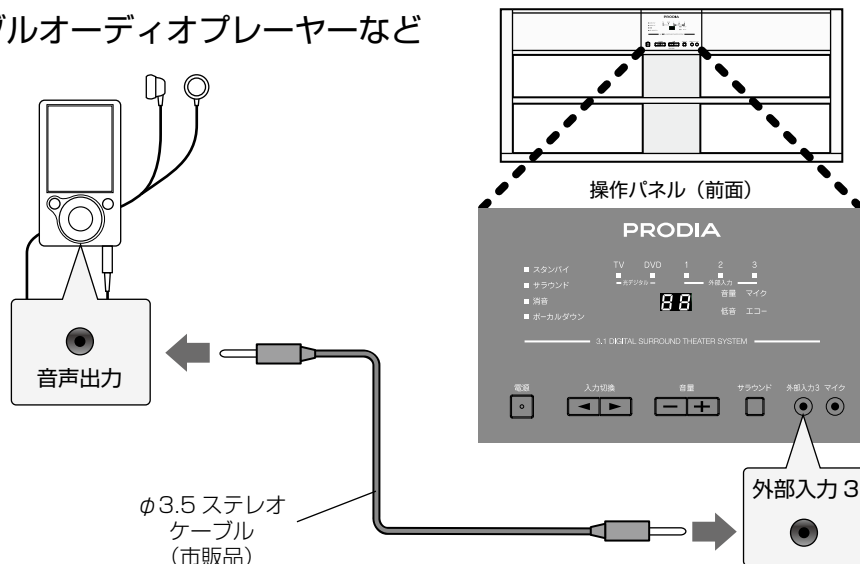


## 機器の接続

### ポータブルオーディオプレーヤーなどの接続

φ 3.5 ミニステレオピンジャックで音声を出力できる機器を接続できます。

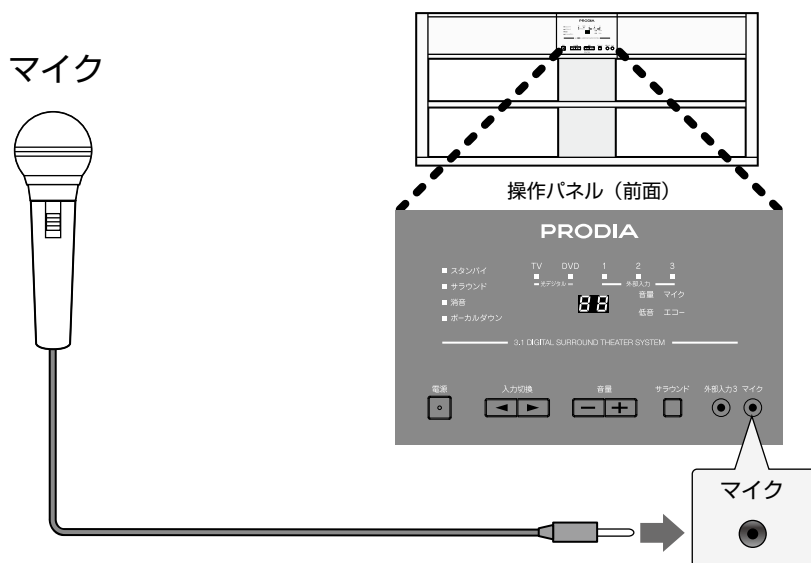
#### ポータブルオーディオプレーヤーなど



### マイクの接続

マイクを接続して、カラオケとして楽しむことができます。

※ マイクは別途用意してください。





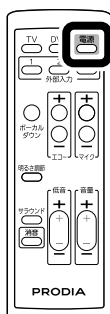
# 基本操作

## 電源の入／切

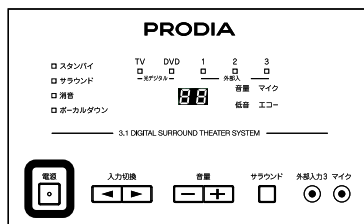
リモコンまたは操作パネルの [ 電源 ] を押します。

電源を切るときは、もう一度 [ 電源 ] を押します。

リモコン



操作パネル



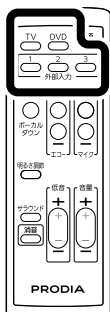
## 音声の切換

リモコンの入力切換ボタンで、音声を出力したい機器が接続されている入力のボタンを押します。

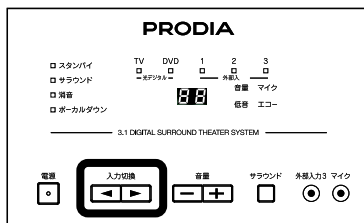
**ポイント** 操作パネルの [ 入力切換 ] で切り換えることもできます。

※ 押すたびに入力切り換わります。

リモコン



操作パネル



音声品質	リモコンボタン	音源
デジタル音声	TV	本体背面の「TV」端子に接続されている機器
	DVD	本体背面の「DVD」端子に接続されている機器
アナログ音声	外部入力 1	本体背面の「外部入力 1」端子に接続されている機器
	外部入力 2	本体背面の「外部入力 2」端子に接続されている機器
	外部入力 3	本体前面の「外部入力 3」端子に接続されている機器

## 基本操作

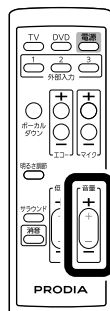
### 音量の調節

リモコンまたは操作パネルの [ 音量 ] で調節します。

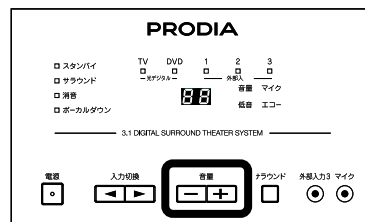
00 ~ 63 の間で調節できます。

消音するときはリモコンの [ 消音 ] を押してください。もう一度押すと消音が解除されます。

リモコン



操作パネル

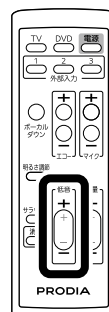


### 低音の調節

リモコンの [ 低音 ] で調節します。

- 5 ~ 5 の間で調節できます。0 がフラットの音声です。

リモコン



### サラウンド音声

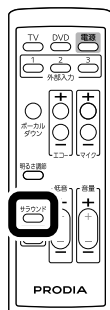
リモコンまたは操作パネルの [ サラウンド ] を押します。

もう一度押すと、サラウンドが解除されます。

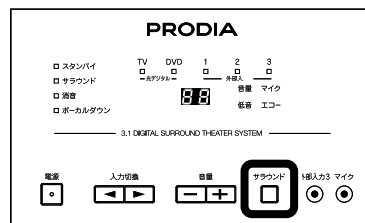
※ 音源や楽曲によっては効果が十分に再現されない場合があります。

※ [ ボーカルダウン ] が有効のときは、サラウンドの効果が得られない場合があります。

リモコン



操作パネル



## インジケータの明るさ調節

リモコンの [ 明るさ調節 ] を押します。

もう一度押すと、元の明るさに戻ります。

**ポイント** インジケータの輝度を下げて目立たなくする機能です。  
映画を観るときなど、薄暗い環境でインジケータの光が  
がまぶしく感じるときに使用します。

リモコン

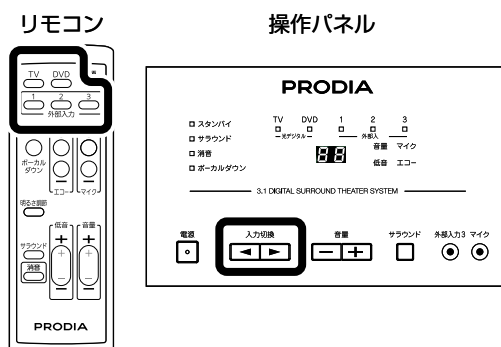


# カラオケとして使う

楽曲のボーカル音声だけを小さくしてカラオケを楽しむことができます。

## 1. 操作パネルのマイク端子にマイクを接続します。

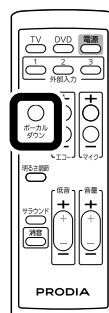
## 2. 曲を再生する機器が接続されている入力に切り換えます。



## 3. リモコンの [ ボーカルダウン ] を押します。

➡ 楽曲のボーカル音声だけが小さくなります。

※ [ ボーカルダウン ] が有効のときは、[ サラウンド ] の効果が得られない場合があります。



## 4. 曲を再生します。

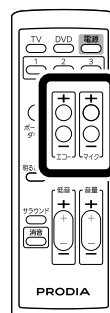
以下の調節ができます。

### マイク音量

リモコンの [ マイク ] で調節します。  
00 ~ 40 の間で調節できます。

### エコー

マイク音声のエコーの強さを調節します。  
リモコンの [ エコー ] で調節します。  
00 ~ 40 の間で調節できます。



### ご注意

- マイクの使用中にハウリング音が発生するときは、マイクとスピーカーの距離をあけるか、マイクの音量を下げてください。
- 曲によっては、[ ボーカルダウン ] を押してもボーカル音声小さくならない場合があります。
- 音声多重の CD を再生すると、伴奏が正しく再生されなかったり、ボーカル音声が大きくなる場合があります。

# 困ったときは

「故障かな?」と思ったら下表を参考に対処してください。

それでも解決しない場合は、弊社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。


症状	原因・対処方法
電源が入らない	電源ケーブルや AC アダプターの接続の問題が考えられます。電源プラグをコンセントに確実にさし込み、AC アダプターや背面の DC 入力端子の接続も確認してください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 消音になっている、または音量が極端に低いおそれがあります。消音解除または音量を上げてください。</li><li>・ 出力しようとしている音源とは別の音源が選択されているおそれがあります。出力する機器の入力を選択してください。</li><li>・ 出力する機器との接続の問題が考えられます。接続先に間違いはないか、また、接続にゆるみなどがないかを確認してください。</li></ul>
リモコンが反応しない	リモコンの受光範囲内 (P.7) で操作してください。それでも反応しない場合は、リモコンの電池が消耗しているおそれがあります。電池を交換してください。

## お問い合わせ先



株式会社ピクセラ

受付時間 10:00～18:00 (年末年始と祝日を除く)

固定電話をご利用の場合  0120-727-231 (無料)

携帯電話をご利用の場合  0570-064-246

※フリーダイヤル以外の場合、通話料がかかります。

受付時間 24時間

フリーダイヤル、ナビダイヤルをご利用いただけない場合

FAX 06-6633-2992

※フリーダイヤル以外の場合、通話料がかかります。

# 定格

仕様	
実用最大出力	67W (非連動 JEITA) <ul style="list-style-type: none"> <li>• フロントスピーカー 15W+15W</li> <li>• サブウーハー 30W</li> <li>• センタースピーカー 7W</li> </ul>
音声入力端子	<ul style="list-style-type: none"> <li>• デジタル外部入力 角形光入力 × 2</li> <li>• アナログ外部入力 ピンジャック (L/R) × 2</li> <li>• φ 3.5 外部入力 ミニジャック × 1</li> <li>• φ 3.5 マイク入力 φ 3.5 マイク入力 ミニジャック × 1</li> </ul>
電源	AC100V 50-60Hz AC アダプター 出力 DC22V
フロントスピーカー	密閉型フルレンジ 80mm × 2
サブウーハー	バンドパス型バスレフ方式 100mm × 1
センタースピーカー	密閉型楕円 70mm × 30mm × 2
消費電力	37W (スタンバイ時 0.5W)
外形寸法	幅 900mm × 高さ 400mm × 奥行 392mm
質量	約 23.5kg
耐荷重	35kg
付属品	AC アダプター、電源ケーブル、リモコン、単 3 形乾電池、ステレオピンケーブル、取扱説明書 (兼保証書)

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更される場合があります。

※電源、フロントスピーカー、サブウーハー、センタースピーカー、消費電力、外形寸法、質量、耐荷重は、社団法人電子情報技術産業協会の定める「JEITA 規格」による測定値です。



本製品は当社品質検査に合格したものです。万一、保証期間内での正常な使用状態にもかかわらず、故障が発生した場合、本書記載の保証規定に基づき無償修理を行います。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

製品名 製品型番	ホームシアター PRD-FT90B
製造番号	※本体ラベル記載の製造番号をご記入ください。

お買い上げ日	年 月 日
保証期間 (お買い上げ日より)	本体： 1 年

## 取扱販売店名・住所・電話番号

【販売店様へ】お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号をご記入のうえ、お客様に本書をお渡しいたください。


- 保証期間内において、取扱説明書や安全上のご注意等にしがった正常な使用状態にもかかわらず、故障が発生した場合、保証規定に基づき無償修理をいたします。故障発生の場合には、まず、お買い上げの販売店または弊社ユーザーサポートセンターへお問い合わせください。
- 保証期間内であっても、お客様の取扱いの不備、操作間違い等が原因による故障は、原則として有償修理とさせていただきます。
- 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または弊社ユーザーサポートセンターへお問い合わせください。
- お買い上げ年月日、販売店名の記入捺印がない場合は、別途、購入日を証明する書類(レシート、納品書等)の添付が必要となります。ご確認のうえ、記入捺印のない場合は、販売店にお問い合わせください。
- 輸送費、その他諸費用は、保証対象外の場合に限りお客様にご負担いただきます。
- 本保証書は再発行いたしません。大切に保管してください。
- 本保証書は日本国内でのみ有効です。  
(This warranty is valid only in Japan.)
- 保証期間内であっても次の場合は有償修理となります。また、本書並びに製品付属の取扱説明書等に別途記載されている場合には、その保証規定にしたがい有償修理となりますのでご注意ください。
  - お買い上げ年月日が確認できない場合、また、販売店名、販売店記入のない場合(※オンライン購入の場合は、お買い上げ日を証明する書類(納品書等)が必要になります。)
  - 本保証書の提示がない場合、また保証書を書き換えた、所定事項に記入がない場合
  - 操作上の誤り、他の機器との誤った接続、弊社によらない修理や改造による故障および損傷
  - お買い上げ後の輸送、移動、落下等により生じた故障および損傷
  - 火災、風水害、地震などの天災、異常電圧による故障および損傷
  - 組立時や使用中に生じる外観上の損傷や木部変質、変化
  - 消耗品・付属品
- 本製品の取扱説明書や安全上のご注意に従わない組み立て、故障および故障状態での使用により生じた直接、間接の損傷・損害につきましては、弊社はその責任を負いかねます。
- 修理受付後、弊社において障害が再現できない場合は、交換、修理をいたしかねる場合があります。
- 修理によって交換された不良品の所有権は、当社に帰属するものとし、交換した部材に関するデータ等の内容については一切の責を負わないものとします。
- 保証期間経過後の修理につきましては、修理することで機能を維持できる場合には、ご要望によって有償修理いたしますが、修理が困難な場合や修理しても機能を維持できない場合などやむを得ない事情により、お客様へ事前通知なしに使用部品の変更、または同等品と交換する場合があります。

お問い合わせ先 受付時間：10時から18時(年末年始、祝日除く)

固定電話をご利用の場合(フリーダイヤル)

 0120-727-231 (無料)

携帯電話をご利用の場合(ナビダイヤル)

 0570-064-246  
(通話料がかかります)

フリーダイヤル、ナビダイヤルをご利用いただけない場合 FAX.06-6633-2992 (通信料がかかります)